

# OSK KHJ岡山きびの会

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可(毎月 25 日発行)

平成 28 年 10 月 6 日 OSK 増刊通巻 475 号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第 156 号(平成 28 年 9 月)



## 『KHJ 岡山きびの会』のご案内』

2016 年度 年会費 正会員 6000 円 賛助会員 3000 円  
月例会参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

郵便振込先 01380-6-77803 KHJ 岡山きびの会

※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。

連絡先 会長 川島 焔三 〒708-0821 津山市野介代 5 2 6 - 3 0 【電話】090-7541-5263

居場所 岡山市北区表町 1 丁目 4-64 上之町ビル 4 階 (市電・城下電停すぐ、アーケードに隣接)  
月・水・土曜：午前 11～午後 4 時、金曜：午後 1 時～6 時 (詳しくは巻末をご覧ください)

## 「KHJ 岡山きびの会」の願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが自分の意思と選択と決定において生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

## グループでの話し合いの約束

- ここでの話はここだけのことにしましょう。
- 相手の話は受容しながら聴きましょう。
- 非難・批判はしないようにしましょう。
- 長く会に参加している人は新しい人に手をさしのべましょう。

### <9月例会のお知らせ>

日 時 平成 28 年 9 月 1 1 日 (第 2 日曜日) 午後 1:00~4:00  
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室  
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2  
内 容 ● 演 題: 「家族教室に参加して思うこと」  
講 師: 西 紀子先生 (KHJ 岡山きびの会「家族教室」担当)  
● ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)  
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

### <10月例会のお知らせ>

日 時 平成 28 年 1 0 月 9 日 (第 2 日曜日) 午後 1:00~4:00  
場 所 きらめきプラザ 2 階 ゆうあいセンター 大会議室  
岡山市北区南方 2 丁目 13-1 電話: 0 8 6 - 2 3 1 - 0 5 3 2  
内 容 ● 演 題: 「ひきこもりからの脱出経験で思うこと」  
講 師: 小山光洋さん (吉備国際大学 2 回生)  
● ひきこもり相談会 (役員による来談者へのオリエンテーション)  
参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

## ひきこもり大学 in 岡山

NPO 法人グローバル・シップスこうべ 代表 森下 徹代表

I 部 私から、まず「ひきこもり大学って？」をお話させていただきます。私は、高校卒業後2年と大学卒業後の約14年間、計16年間のひきこもり経験者です。きっかけは、高校での不登校、大学での不登校、アルバイトのつまずきなどです。旅、パソコン、DVD鑑賞などをして過ごしていました。出たきっかけは、進学、友人との関係、医師との出会い、母のことなどです。そして、支援者・仲間と出会い、イシス(支援者がつくった当事者のための会)、ノア(当事者がつくった当事者のための会)へとつながっていきます。グローバル・シップスとは、ノアの方舟のイメージです。従来の講演・シンポジウムは、聞くのが主で、質疑応答や交流は少なく、残念です。フューチャーセッションは、2011年に、フリージャーナリストの池上正樹さん、フォトジャーナリストの加藤順子さんから聞き、「北欧で始まった未来志向の対話の場」「いろんな人が参加する」という理念です。討論や議論ではなく、立場や上下関係などにとらわれず、平等・フラットの関係で、感じたことを気軽に話せる、自由な対話の場です。2012年に、神戸で開始し、京都、大阪などで開催してきました。別のグループが東京でも始め、そこから生まれたのが「ひきこもり大学」です。不登校やひきこもりの体験者が、自ら講師となり、テーマとなる学部・学科名を決め、体験を通じた見識や知恵、メッセージを、関心のある人たちにむけて講義をします。受講した人は、講師に対する対価を投げ銭で寄付する、明朗会計で行います。本日は、岡山きびの会が主催し、全体の進行を、私(森下)が担当し、II部では、ファシリテーター馬場さんが進行し、Nakamura, Saito, Asayamaの3名の講師が講義します。講義の際には、気になったことを付箋にメモし、スタッフに渡します。III部で、3つのグループで、質問それを紹介し、皆で考えていきます。

### II 部 講義

ひきこもりの就活戦略～弱みを強みにかえて～ Nakamura(神戸市)

私は、高校で不登校、「浪人」、ひきこもりを経験し、2012年に神戸大に入学、今年まさに就活で、来春、大手T自動車会社に内定が決まりました。私から、ひきこもりの経験は、きっとプラスに変えられる。視点を変え、弱みを強みに変えられる、ということをお話します。自己分析を行い、「可視化」し、「選択と集中」で、客観的な成果につなげることをめざしました。吉野家のアルバイトもおちてしまった

私(たち)の弱み ⇒ 視点を変えて ⇒ 強みに

人の顔色をうかがう 感情をよみとることができる

人とうまくやれない 異文化とのふれあい、適応力つけた

圧倒的な自己否定。自己肯定感が低い。 向上心をもつ

なんで生きているのかわからない チャレンジ精神をもつ

大学生活では、ボランティアと海外留学をとりくみました。ボランティアでは、低所得者向け児童の個別学習塾の講師を行い、「子どもたちの変化が理解できる」という評価をうけ、事業責任者(リーダー)の役割をはたすようになりました。海外留学は、フランスに1年、その後(大学から)セネガル、マレーシアでインターンしました。自分を、元ひきこもりと認めて、来年から、仕事をしようと決意しています。

#### 支援を受けながらコミュニティで生活したい Saito(岡山市)

小さい頃は、進学塾に通って、成績もよく、「神童」とか言われていました。けれども、幼稚園では、集団にはいれず、すきかってにブランコにのっていた。中学の頃には、友達がいなくて、孤立している自分をみるのがイヤだった、親にもものを言えず、あばれたくても、ガマン、追従してきたように思います。高校になり、両親が離婚し、生活が困窮してきた、不登校になってきました。その後、公務員試験(事務系)に合格し、最初は、大きな病院の事務の仕事をしてきましたが、上司とうまくいかず、転勤となり、現在(30歳)は、小規模の病院の仕事をしています。岡山には、2015年4月に来て、あすなろ福祉会と出会い、専門医を受診し、「広汎性発達障害」の診断を受けました。一軒家で単身生活していますが、週1回、ヘルパーさんに来てもらって、家事援助を受けています。今も、人は苦手で、地域のコミュニティには出ることができません。自分の体調に波があることもわかっています。だから、自分の思いをだすことができるあすなろ福祉会の仲間は大切にしています。支援を受けながら、地域のコミュニティで生活していきたいと思っています。

#### 障害者支援施設の仕事をしています Asayama(岡山市)

22歳から29歳まで、ひきこもっていました。今年の4月から、(当日資料で配布された)障害者の就労継続事業所の職員として働いています。まだ一生懸命で、ピアスタッフとまではいえませんが、みなさんと一緒に作業や活動にとりくんでいます。子どものころから、まわりの人やものごととなんとなくうまくいかない、と感じていました。専門学校(広島市)卒業後、3カ月で仕事をやめてしまい、岡山に帰ってきました。親もふくめて、だれにも相談することができないでいました。友達とも全く疎遠になっていました。5年前、犬の散歩中、バイクの友人と出会い、アニメの会に参加、趣味を通して「出るきっかけ」になりました。けれども、オフ会で、仕事をしていないこと(収入がないこと)が「負い目」と感じるようになりました。29歳のころ、自分でさがして、岡山市ひきこもり支援センターに電話をかけ、あすなろ福祉会につながり、同じ体験の人と出会うことができました。約5カ月、職場体験も3回ぐらい失敗しましたが、食事会など、相談できる仲間、支援者、つどえる場があることは大きいと思えます。現在、(アニメの会の)オフ会の友人2人もにごちそうでき、対等になれたと感じています。

#### ◆講師としての感想I(Nさん)

私はもとひきこもり経験者ではあるが、大分前の事であり、今ひきこもりがちな人に言葉を届けることが難しいことを感じた。対岸の岸の出来事のように感じられたのかもしれない。リアクションが感じられなかった。そのため講演者には前もってレクチャーが必要ではないかと思った。

できれば参加者にアンケートなどをして講演者にフィードバックする方策を考えて頂ければ、講演者もそれを参考にして、自分の経験を再度振り返ることができるのではないかと思った。

投げ銭方式の報酬体系は、自分が伝えたい価値を見極めやすく、達成感が強かった。それと共に、後で一言二言でも当事者や親御さんと会話できる機会があったのが嬉しかった。

場を仕切ってくださっていた方のファシリテーションが素晴らしかった。授業間の流れや個別紹介や質問の誘導などスムーズで話し易かった。ひきこもり大学のコンセプトや理念に強く共鳴しているため、より精度の高いプログラムして広がって行ってほしい。機会があればまた是非講師をさせて頂きたい貴重な体験であった。

# お知らせ掲示板

**KHJ全国大会の後、**

**中四国のブロック会議が  
ここ岡山の「きらめきプラザ」  
で予定されています**

**2016年11月26日（土）**

まだ具体的な詰めができていませんが、9月17・18日の全国大会の席で大綱が決まると思っています。全国大会のご報告と共に、ブロック会議の方向性をお話することができると思えます。

**NPO法人津山・きびの会  
トトロの家（0868-23-0028）**

**住所**

**708-0863 津山市小桁137-2**

第3回トトロサロンは、8月27日（土）に「ソーメン流し」をしました。まさに1歳の赤ちゃん、3歳の幼児、7歳の小学生から、83歳のお年寄りまで29人集まりました。正常な社会はそのようなものです。最近とはかく分離されがちですが・・・

**連絡先 川島焔三（090-7541-5263）**

## **ご感想ご意見欄（8月例会）**

ひきこもり大学は客観性と普遍性を求める大学の理念にどのように合致するか。全くの主観性と個別性によるひきこもり現象は如何に大学の理念に叶うか。客観性と普遍性は主観性と個別性を根拠にして成立する。だから引きこもり体験をできるだけ客観的に表現することが大切なのです。それが学問の原点になります

**当事者学級  
（AU会）**

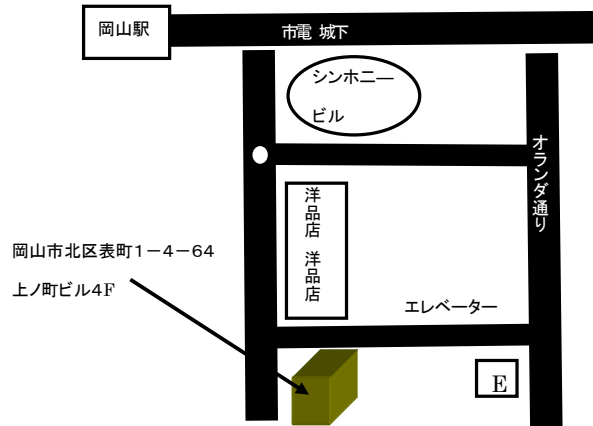
**9月25日（最終日曜日）**

**13:30～16:00**

## 9月きびの会居場所・行事カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 居場所	3 父親学級 居場所
4	5 居場所	6	7 居場所	8	9 居場所	10 家族教室 居場所
11 月例会	12 居場所	13	14 PC 教室 居場所	15 健康教室	16 居場所	17 居場所
18	19 居場所	20	21 母親学級 居場所	22	23 役員会 居場所	24 松田先生 若者学級 居場所
25 AU会	26 居場所	27	28 居場所	29	30 居場所	

### 岡山きびの会 居場所 地図



家族教室 (原則) 第2土曜日 午後1時半～4時 担当:西紀子さん

松田相談日 (原則) 第3土曜日 午前9時～午後6時 担当:松田勝カウンセラー

ご予約:中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857

料 金:会員は1時間3,000円 ※定員8名とさせていただきます

母親学級 (原則) 第4水曜日 午後1時半～4時

当事者学級 (原則) 最終日曜日 午後1時半～6時

父親学級 (原則) 第1土曜日 午後1時半～4時

健康教室 (原則) 第3木曜日 午前11時～4時

若者学級 (原則) 第4土曜日 午後1時半～6時

担当 大阪府療術師会会員 大塚桂子さん

PC教室 (原則) 第3水曜日 午後3時～5時

役員会 第4金曜日 午後1時半～4時

お問い合わせ:花谷 電話 080-1908-3861

関心のある方はどなたでもご参加ください

平成12年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月25日行) 平成28年10月6日発行 OSK 増刊通巻475号

発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区内尾 739-1 綾部小百合 (TEL 086-298-1162)

無断での掲載、転写は禁じます。(定価100円は会費に含まれています)